



## エコパークかごしま連絡協議会について

2月5日（月）に関係自治会や薩摩川内市等で構成するエコパークかごしま連絡協議会を開催し、委員18名に出席していただき、廃棄物の搬入状況や廃棄物の埋立作業の状況、地域振興策の進捗状況等について報告を行いました。



## 廃棄物の受入状況について

〈令和6年1月末現在〉

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻（一般廃棄物を含む）	150,949	46.11
がれき類（廃石膏ボードを含む）	56,612	17.29
汚泥	34,950	10.68
ばいじん（一般廃棄物を含む）	28,434	8.69
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	28,280	8.64
木くず	14,487	4.43
廃プラスチック	6,457	1.97
13号廃棄物	4,129	1.26
鉱さい	1,585	0.48
動植物性残さ	685	0.21
金属くず	302	0.09
紙くず	282	0.09
繊維くず	190	0.06
合計	327,343	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。

平成27年1月の開業から今年1月末までに約32万7千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻（一般廃棄物を含む）、がれき類（廃石膏ボードを含む）、汚泥となっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

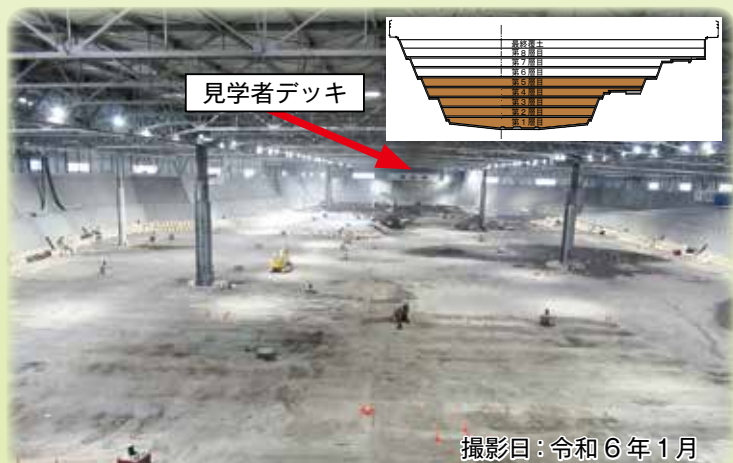
今年度の1月末現在の搬入量は、3万4,369トンです。引き続き搬入量の確保に努めてまいります。

## 廃棄物の埋立状況について

本年1月で10年目を迎え、埋立期間15年間の後半期に入っています。

埋立地全8層のうち第5層目の埋立が昨年12月に終了し、現在、第6層目を見学者デッキ下の区画より順次、埋立中です。

引き続き、安心・安全を第一とした施設運営、廃棄物の適正処理に努めてまいります。



撮影日：令和6年1月

# 教えて!エコパーク先生!



みなさんこんにちは!  
 前は、身近な段ボール(紙くず)や建物の解体で排出される鉄骨や鉄筋(金属くず)の処理について勉強しましたね。

圧縮や切断をして廃棄物のサイズを小さくすることで、運びやすさや取扱いが簡単になるんだよね。

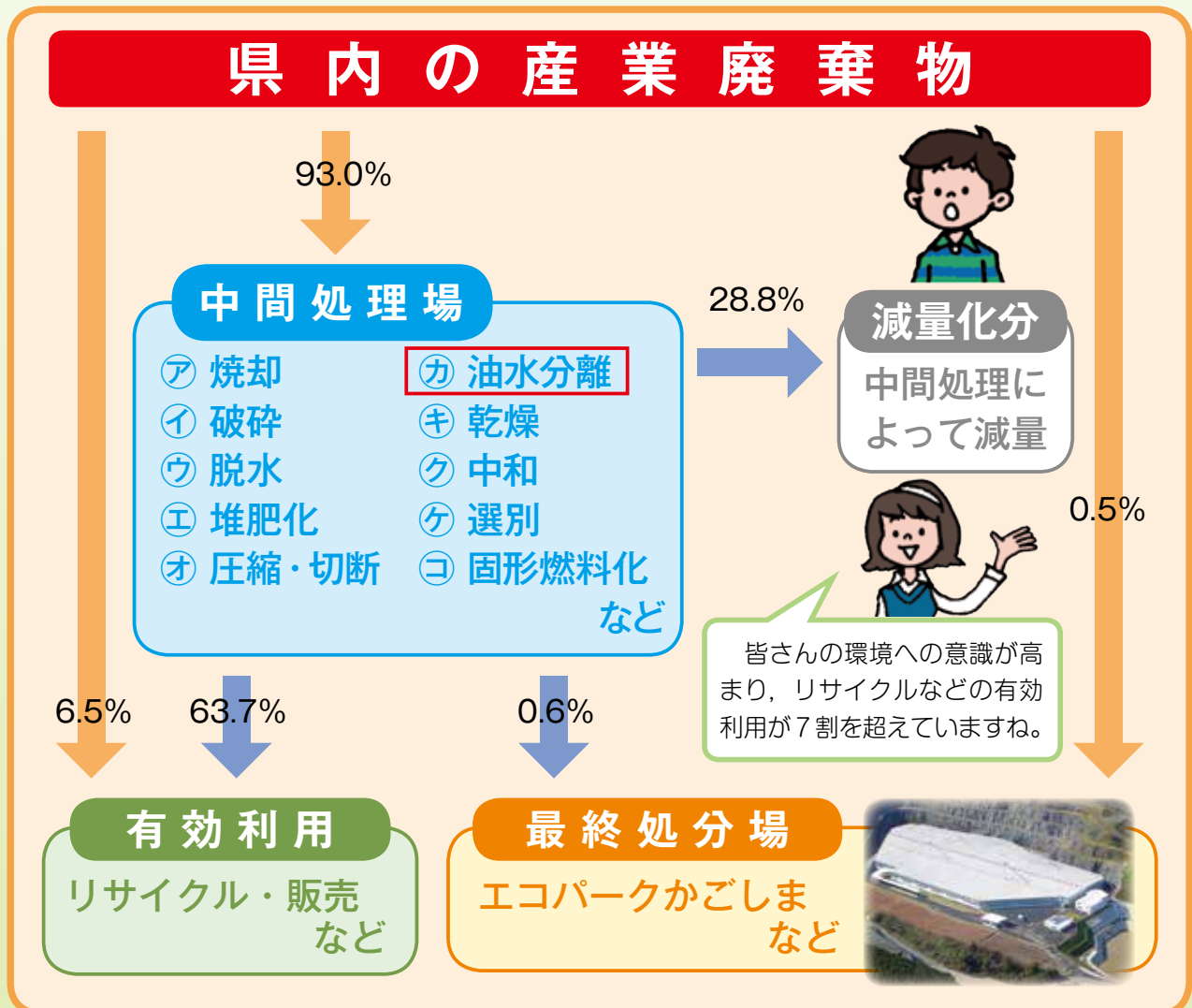
サイズを小さくするといっても、前回勉強をした圧縮や切断、その他にも破砕などいろいろな方法があるんだね!  
 今回はどんなことを教えてくれるのかな。



今回は、㊦油水分離について勉強していきましょう。



## 産業廃棄物の流れ





油水分離施設では、車の整備工場や飲食店から排出される廃油の混じった廃水を処理しているよ。

廃油の混じった廃水をどのようにして、油と水に分離しているのかな？

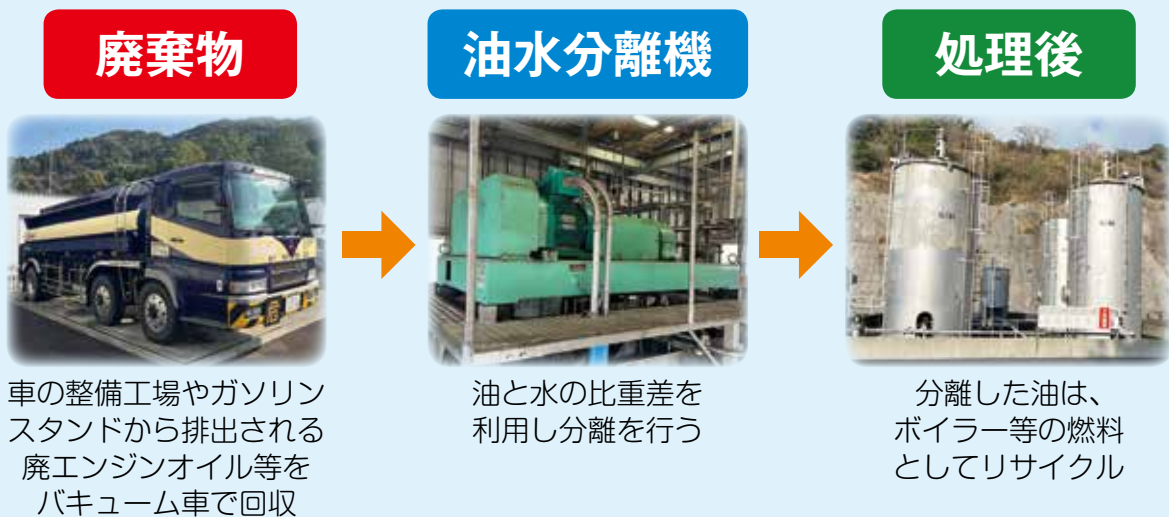
そうですね、油水分離についての説明を一緒に見ていきましょう。



## 【カ】 油水分離

油水分離施設は、排水中に含まれる油分を分離・除去することを目的とした施設です。

一般的に油と水の比重差によって油を分離し、処理を行います。除去した油は、ボイラー等の燃料としてリサイクルされます。



### ■ 油を分離する基本的な仕組み

油は水に混じらず水よりも比重が軽い性質を利用して分離を行います。  
分離する方法によって、分離槽式や遠心分離式などがあります。

油
水

比重の軽い油は、水に浮きます。

#### 比重

水 : 1.0  
 鉱油 : 約 0.84 - 約 0.94  
 植物油 : 約 0.91 - 約 0.92



水から分離した後の油は、燃料としてリサイクルされたりしているんだね。

そうですね、有効利用できるものは利用し、環境に優しい社会作りをすることが大切です。

次回は、乾燥といった処理について勉強していくので、楽しみにしててね。





## 排出事業者様にお話を伺いました！

株式会社荒川 代表取締役 荒川 直文 さんにお話を伺いました。



業務用家電、フロンガス回収、一般廃棄物の処理のほか、各種機材と手解体を併用した高度なりサイクル処理を行っている「谷山メタルベイ」



鉄スクラップ、廃棄物の受入・加工処理を行っている「七ツ島事業所」

当社では中間処理（破碎）の過程で発生するシュレッターダストをエコパークかごしまに搬出しており、当社からは約1時間と近い距離にあり、輸送コストや環境負荷が軽減でき、とても助かっています。

エコパークかごしまは県内唯一の管理型最終処分場として埋立地を屋根で覆った安心、安全な施設との印象を持っており、今後もエコパークかごしまを利用して、環境配慮や産業廃棄物の適正処理に努めていきたいと考えています。

### 〈事業所紹介〉

当社は、昭和29年に資源リサイクル業を創業し半世紀が経ちました。その間にビン、古紙、鉄、非鉄、自動車、家電、プラスチック類などの総合リサイクル業として営業を行ってまいりました。

循環型社会の一員としての役割を重要とし、明日を生きる子供たちにより良い環境を残していくために限りある資源のリサイクルを推進し、社会に貢献してまいります。

## 環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を実施しています。

また、毎日の設備点検においても地下水や浸出水等に異常が無いか確認をしています。

これらの調査結果については、これまで同様、異常は認められていません。詳しい調査結果はホームページに掲載しています。



阿茂瀬川の水質調査

## 環境学習を実施しました！



プロジェクターを使用して廃棄物についての授業

最終処分場の役割や必要性などの理解を深めるため、小学生を対象に環境学習を行っており、今年度は、市比野小学校の4年生が水処理の模擬実験を体験するなど、楽しく学んでいただきました。

また、環境学習に役立つノートも作成中ですので、是非、お問い合わせください。



水処理の模擬実験

### ☆編集後記☆

エコパークかごしまは、開業から10年目を迎え、これまで安心・安全な運営を続けてこられたのも皆様の御理解・御支援のおかげです。

引き続き、地域環境に配慮しながら、廃棄物の適正処理を行い、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

また、皆様に分かりやすい情報をお届けできるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924 番地 11  
TEL 0996-21-1220  
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。